

## 感染症委員会報告

感染症委員会 委員長 渡邊 徹

13回感染症委員会は令和3年2月17日に開催され、まず2月15日までの作業実績を報告し、主に「作業の安全対策」について討議された。

- PPE着脱手順について、日本協会ホームページ「会員専用ページ」にある「新型コロナウイルス消毒作業の手引き」にある着脱動画のURLを全隊員に告知する。この際、介助者による作業着脱衣前の消毒はスプレーでなく清拭が好ましいと加える。

- 隊員各社にアンケート調査を実施した結果（資料1）、PCR・抗体検査とも十分に実施されていないことが判明し、キット発送の必要性が確認され、抗体検査キットを衛生隊各社に発送し作業者を対象として定期的実施することにした。対象者氏名、実施日、結果を記録する。事務スタッフ・家族については一般的ルールに基づく旨文書を添付するものとした。

また隊員各社の中でもコロナ専従チームを設けている社とそうでない社があることが分かった。

- スタッフ、関係者に陽性者が確認された場合の対応マニュアルについては元木副会長が作成した文書を協会として全会員に発信するものとした。

- 隊員家族に陽性確認された事例があり顛末が報告された。これについては、マニュアルと同じ展開を示しており用意したマニュアルの正しさが確認された。

作業チェックリストについて谷川委員長

が作成したものを経験値の高い隊員の意見を取り入れて佐々木・森両委員が揉んで至急作成するものとした。

### 活動の状況

前号で昨年10月までの活動実績を報告した。その後4月末までの状況を表1、図1に示した。

依頼件数は陽性者数と正比例し、第4波をもろに浴びている事態が鮮明になった。驚くべきは従事者数である。2020年の延べ2,430人をすでに上回り、当初からの合計は5,200人を越える方々が従事している。特筆すべきは作業に関係して感染した方が1名もいないことだ。

決定的な対策もないままワクチン接種が停滞している現状でこの状態は当年も続くと考えている。

表1 稼働人数(2021年)

	ホテル	救急車	人工
1月	68	355	1133
2月	29	175	522
3月	14	132	361
4月	55	241	796
	166	903	2812

活動実績

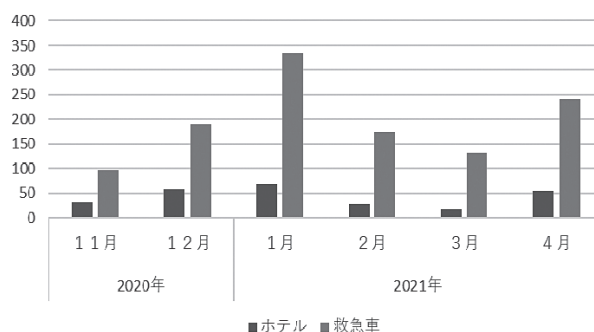


図1 活動実績(2020年11月～2021年4月)

# 感染症委員会報告

## 衛生隊新規登録について

衛生隊登録にあたっては所定の研修会を受講する必要がある。しかし2020年について集合研修が実施できないこと、ともかく従事者の分母を大きくするため作業現場でのOJTをもってこれに代えるものとし、新たに7社の参加を得た。その後7社には救急車・宿泊療養施設消毒に従事頂いている。また、実施は見送られているが都立公園媒介蚊のサーベランスにも参加頂くものとした。2021年度感染予防衛生隊ブロックを表2に示した。

## 明らかになった問題点

これだけの案件数を経験したことにより、PPE着脱は医療従事者並みの習熟を得た。また資器材の用意、作業展開も滞りなく進展している反面、手早くするために作業工程や着脱手順を飛ばす、責任者の了解を得ず手順を変更する、目的を忘れ機械的に処理する等、「慣れ」による散漫な対応が見受けられる様になり、数件の物損事故、鍵の紛失等の事故も発生した。通常のPCO業務であれば取返しがつくが、感染症については「感染」という取返しをつかないしっぺ返しが待っている。「慣れ」というのはつくづく怖いものだと思う。

特に宿泊療養施設作業に当たっては「監督者」を配置し常にチェックとミーティングを実施しているが、現場では十分な時間が確保でき

ない。このため、ことの重大性に踏まえ、敢えてこの時期に集合研修を企画し、安全確保のため6月4日にシンポジウムを計画した。

コロナ禍の先には、広域にわたる風水害対策、デング熱、オリパラ対策等が待ち受けており、「感染症対策事業」の多くは、複数の企業による共同事業が多くなる。

20社を超える共同事業を経験した結果、各社の動き方に個性があり、作業スピード、報告連絡相談の度合いの差等社風の違いがあることが明確になった。共同事業ではこれを統一し品質を均一化しなくてはならない。IPMの徹底により大人数の大規模作業は姿を消し、会員企業が共同して事業を行う機会は30年前の「つくば科学万博」以来ではないだろうか。多くの隊員が他社との共同事業は未経験だった。この機会に感染症対策作業のスキルアップの他に、社風の異なる大人数がチームを編成し均一の品質で作業をするための「マネジメントの手法」を検証し、今後の糧にしたいと考える。

## 今後の委員会活動について

オリ・パラの開催があるのか、あるとすればどんな影響を受けるのか想像できない。少なくともワクチン接種が完了するまで、この状態は続くと考えている。また、風水害の発生も想定される。

表2 2021年度感染症予防衛生隊ブロック

第1ブロック	第2ブロック	第3ブロック	第4ブロック	第5ブロック
銀座化成産業(株)	アベックス産業(株)	株ヨシダ消毒	(株)中央社	エーデル商事(株)
株東京三洋	株三共消毒	株環境衛生サービスセンター	(株)シマダ	エコア(株)
イカリ消毒(株)	シェル商事(株)	ジェイ・ビー・シー・サービス(株)	(株)三幸	深井消毒
株大正クエスト	(有)協栄消毒	東京企業(株)	株シー・アイ・シー衛生営業所	株奥田建物管理
日栄商工(株)	808シティ(株)	日本環境衛生(株)	(株)三共リメイク	(株)ミナト
		中村化学工業	株アサヒビジネスプロデューズ	タケダサイエンス(株)

参加企業が増え、目に見えて能力は向上しているが、すでに能力の限界に近い。

オフシーズンの閑散期にご協力頂いた各社も、それぞれ本来の業務に主力を回す季節を迎えた今、事態は深刻さを増している。委員

会は、参加各社に情報の提供を続けるとともに、公平な発注、負担集中による労働環境の悪化を避け、事業として健全に感染症対策が継続できる体制の構築に努めたい。

## 資料1

### アンケート調査の結果

令和3年2月13日

東京都ペストコントロール協会感染症委員会

配付対象 感染症予防衛生 配付数 25件 回収 23件 回収率 92%

① 協会由来の他にコロナ対応作業を実施されていますか。

多く実施している 22% 週5~20件程度 実施しているが多くない 56% 週1~3件程度  
実施していない 22%

② 社内の感染対策を実施していますか。 している 100%

内容

抗体検査	PCR検査	マスク義務化	体温測定	不調者出勤停止	社内・車両の消毒
13%	21%	86%	100%	74%	78%

③ スタッフ・家族について感染対策を実施・指導していますか。

していない 22% している 70% 内容 マスク着用 検温 手洗い 消毒 喚起等  
回答なし 8%

④ スタッフ・家族・関係者に陽性者は出ましたか。

いない 83% いた 9% 回答なし 8%

いたとされた方、対策をどうしましたか。

出勤停止 自宅待機

⑤ 作業する上で不安を感じることはありますか。

感じない 70% 感じる 30% 市中感染 脱衣の安全性

⑥ PPEは足りていますか。

間に合っている 43% 足りない 57% M 300 L400 LL 300 着程度必要